

単元の指導と評価の計画

単元の構成と作成手順

STEP1

単元の指導と評価の計画	
単元名	6年 Unit 4 Summer Vacations in the World
単元の目標	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。 「話すこと【発表】ウ」

○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 場所や動作、食べ物、様子などを表す語句や I went ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. の表現について理解している。 〈技能〉 夏休みの思い出について、上記の語句や表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話している。	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。

学習過程

○単元の指導と評価の計画

STEP4	本時の目標	◇主な言語活動	各時間に扱う表現
1	行った場所やしたこと、感想を聞き取ることができる。	◇【Starting Out】 何を話すか想像してから音声教材を聞き、行った場所やしたこと、感想を聞き取る。	I went ～. I enjoyed ～. It was ～.
2	夏休みに行った場所を伝え合うことができる。	◇【Interview】 紹介する夏休みの思い出を決め、友達と、夏休みに行った場所について、尋ねたり答えたりする。	A: Where did you go? B: I went ～.
3	夏休みに食べた物を伝え合うことができる。	◇【Let's Try②】 グループの友達と夏休みに食べた物を尋ねたり答えたりする。	A: What did you eat? B: I ate ～.
4	夏休みに楽しんだことやその感想を伝え合うことができる。	◇【Let's Try③】 グループの友達に夏休みに楽しんだことやその感想を尋ねたり答えたりする。	A: How was your summer vacation? B: I enjoyed ～. It was ～.
5	発表する夏休みの思い出について書くことができる。	◇【Writing】 夏休みの思い出について整理し、行った場所やしたこと、感想などを、例文を参考にして書く。	I went ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～.
	夏休みの思い出について内容を整理して話すことができる。	◇【Speech】 夏休みの思い出について行った場所やしたこと、感想などを教員やALTに話す。発表の練習をしたり、絵カードを作成したりする。	I went to Hanayama. I enjoyed hiking. I ate a rice ball. It was fun.
7	STEP2 いし、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。	◇【Step③】 グループの友達に「夏休みの思い出メモ」を見せながら、夏休みの思い出について話す。	I went to Hanayama. I enjoyed hiking. I ate a rice ball. It was fun.
8		◇【Step③】 前時とは違うグループの友達と、夏休みの思い出について話す。	

学習状況の確認

○の領域…学習状況を確認
□の領域…記録に残す評価

知・技	思判表	態度	本時の評価規準	記録に残す評価
			行った場所やしたこと、感想を聞き取っている。	○
			夏休みに行った場所を伝え合っている。	○
			夏休みに食べた物を伝え合っている。	○
			夏休みに楽しんだことやその感想を伝え合っている。	○
			発表する夏休みの思い出について書いている。	○
			夏休みの思い出について内容を整理して話している。	○
			単元を通して評価を行う	
			単元の評価規準を参照	□
			※第7時に評価できなかった児童の評価や努力を要する児童の再評価を行う。	□

表現に出会う活動
目標を持つ

語彙や表現に慣れる活動

表現(やり取り)により慣れる活動

最終の言語活動

記録には残さないが、言語活動の様子から本時の目標に到達しているか把握する



必要な指導や支援を行う

指導・支援
アイデア集

言語活動の様子から、単元の目標に到達しているか評価する

評価事例集

作成手順

記録に残す評価

STEP1

CAN-DOリストと年間指導計画を確認し、単元の目標を設定する。

STEP2

思考力、判断力、表現力等を育成するために、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確にして、最終の言語活動を設定する。

STEP3

観点ごとに、記録に残す評価を行う時間を設定する。

STEP4

1単位時間ごとの目標と言語活動を設定する。

STEP5

1単位時間ごとに学習状況を確認する領域と評価規準を設定する。